

## 王家の概念化の話

ちょっと考えてみただけなのでさっきの話と矛盾してたら捨ててください

①王家の始祖＝ある童話群の主人公＝裕海

私個人が勝手に面白いと思っただけです

裕海のような概念的な王家の人物が出る、ではなくもうそれ本人っていうことです

馨くんが人間と魔術師の間の違い、魔術師の存在意義を疑問に思う→研究する過程で童話に注目する→童話は王家のことを指していることに気づく→さらに研究していくうちにもしかしたら？

みたいな

②王家の始祖＝ある童話群の主人公＝始祖～現国王＝裕海

①の完全な蛇足

裕海は最初魔術師の走りとして崇められるようになる→国王になる→概念化する→現在まで国王・裕海は変わらず→①

③王家の始祖～現国王＝裕海→概念化→王家の人物を一般魔術師から引き抜いてる

①の完全な蛇足その2、というか①の場合の臨の存在理由に整合性をつけるためだけに作ったバージョン

裕海は最初魔術師の走りとして崇められるようになる→国王になる→概念化する→現在まで国王・裕海は変わらず→国王裕海が有史以来一切変わっていないのを隠すために、稀有な属性を持って生まれた一般魔術師 or 非常に才能のある一般魔術師を王家が養子として育てる→未来の仮初の国王にさせる

裕海が超人すぎてヤバいし馨くん何だかシュリーマンみたいになっちゃってる

そういえば軍部と魔術師がなぜ対立するようになったのかで私が言いよんだのは、軍部・原理主義（魔術師が歴史の蓄積で概念の人間でいられなくなるくらいなら魔術を破棄しろ、ただの人間に戻れ）と王家・推進主義（利用価値があるなら身体を捨てても魔術を使い続けるべきだ）的なことが言いたかった

で、現在の軍部は行き過ぎてただの魔術師排除しろ状態、みたいな

普通の魔術師は魔術師家系の蓄積で概念化するけど、王家は王家でいるだけで（魔力が強すぎて？常に精神>>>越えられない壁>>>身体だから？）家系を積み重ねなくても概念になってしまう

って感じ